



たらまち議会だより

たらまち



花笠音頭
(柳野分校運動会)

P2 平成 22 年度 町の家計簿 (決算認定)

P5 町の診断書 (監査意見)

P6 10 議員が町政を問う

P14 町の考え方に対して (全員協議会)



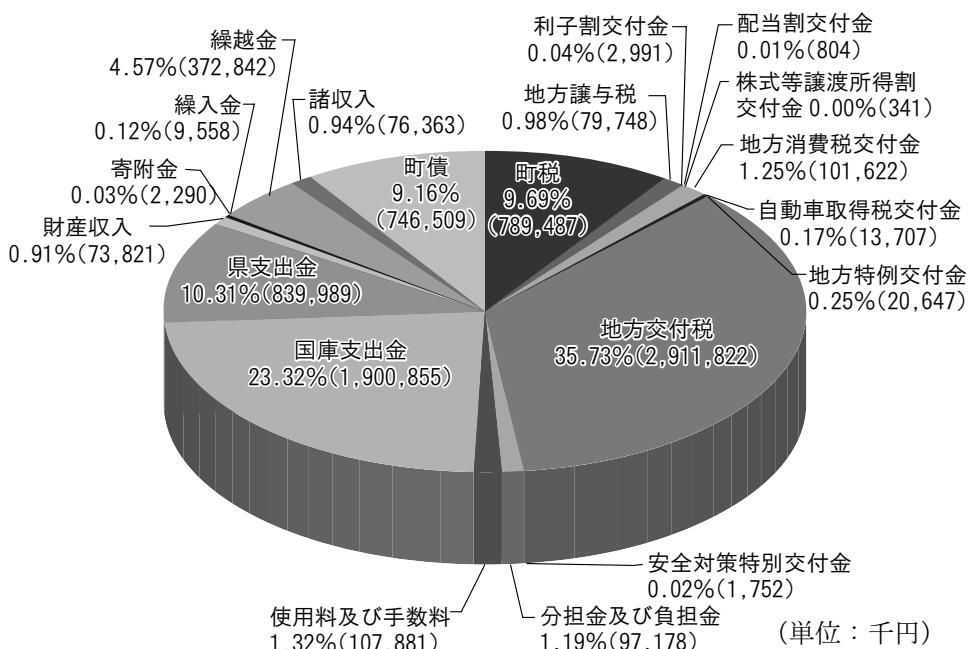
平成23年
9月定例議会

No.83

鳴かせなさい (観木地区体育祭)

熊本県多良木町議会発行

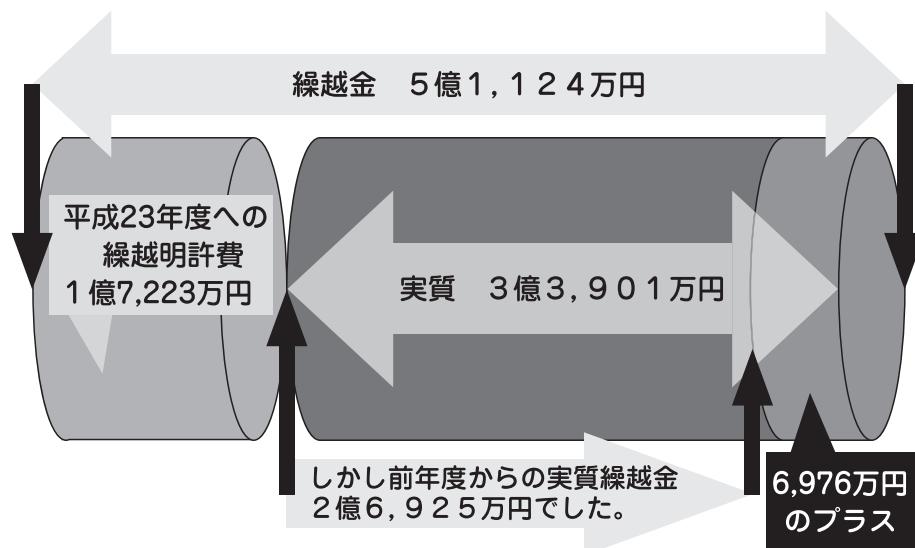
81億5,021万円! 単年度収支は6,976万円のプラス



収入額 81億5,021万円

※ 町債：借入金

繰越金 5億1,124万円の中身は



※ 繰越し明許費：22年度から23年度へ繰越される予算

平成23年度第6回定例会は、9月8日から16日までの9日間開催され、専決1件、報告1件、補正予算4件、平成22年度決算認定8件、同意1件が提案され慎重に審議した結果、原案どおり賛成多数で可決、認定されました。また、一般質問には10名が登壇し、町長の考え方を質しました。

平成22年度 町の家計簿（決算認定）



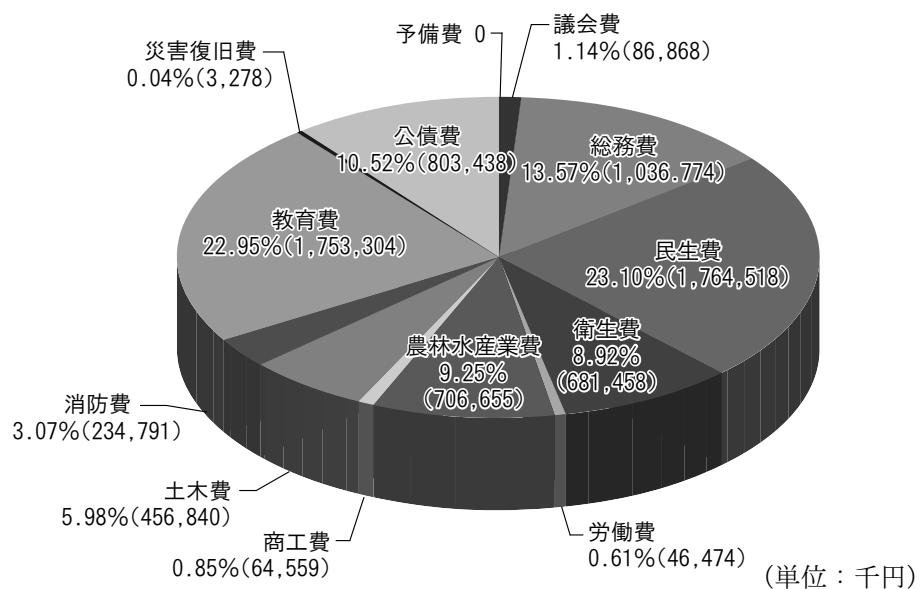
教育委員選任

**【再任】
溝口衛氏
多良木**

平成19年より教育委員会
委員となり今回で2期目と
をもって任期満了となるた
め再任されました。
同氏が平成23年10月10日

平成22年度 一般会計

歳入



支出額 76億3,896万円

※ 公債費：返済金

平成22年度の主な事業

大久保地区畠地帯総合整備事業

事業費 1億8,650万円



多良木小学校校舎改築工事

総事業費 10億9,701万円

平成23年度 補正予算

一般会計

2億1,970万円追加 総額：62億3,388万円

《主なもの》

庁舎太陽光発電設備工事 -----	3,708万円
庁舎照明器具LED化工事 -----	3,663万円
介護基盤緊急特別対策事業補助 -----	6,750万円
町有林管理委託料 -----	1,264万円
多良木町住宅リフォーム補助 -----	940万円
家屋移転補償費(小田原庚申線) -----	1,563万円
林道花立線災害復旧工事 -----	937万円
住宅用地造成工事(黒肥地) -----	930万円
無形文化財等復興伝承補助 -----	380万円

国民健康保険

2,942万円追加 総額：14億9,101万円

国県補助金等返納金 ----- 1,512万円

療養給付費等交付金返還金 ----- 1,299万円

久米財産区

882万円減額 総額：1,856万円

基幹作業道開設工事 ----- △882万円

介護保険

3,481万円追加 総額：14億2,627万円

償還金 ----- 2,129万円

一般会計繰出金 ----- 1,395万円

※ 予算計上の都合上、金額の増減があります。

陳情・要望

去る9月議会には以下の3件の陳情・要望が提出されました。

第168号 要望書(農道舗装の実施について)

第168号については、経済建設常任委員会に付託され9月8日審議、翌9月9日現地調査、詳細な説明を受けた結果、当地区(黒肥地地区)には農道の未舗装区間があり、農作物の品質の低下と農業用機械の運行に支障をきたし、今後の事故発生も予想されるため採択となりました。

第175号 郵政改革法案の早期成立を求める陳情書

第175号についての陳情の内容は、国民共有の財産である郵便局のネットワークを維持するとともに、地域社会が郵便局を有効活用していくために郵政改革法案の早期成立を求める意見書を多良木町議会より衆参議長及び関係大臣へ提出して頂きたいとの内容でした。この件については総務常任委員会に付託され、慎重を期すため継続審査となりました。

第179号 350万人のウイルス性肝炎患者の救済について国への意見書提出を求める陳情

第179号については、陳情のあった文書を議員配布とすることと決定しました。

町の診断書（監査委員決算審査意見書より抜粋）

平成22年度多良木町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算については違法な点は見受けられず、関係諸帳票、証拠書類等は収支決算書と照合の結果合致しており、決算計数は正確で、予算執行状況及び事務処理についても概ね適正であると認めた。また、実質収支に関する調査及び財産に関する調査の計数は正確で、収入支出等の事務は関係法令に適合しており、財産の管理については適正に行われていることを認めた。

今後においても歳入については予算の見積りを厳しく査定し、歳出については予算執行の節約を行い予算編成と周到な予算執行が不可欠なものと考える。

平成22年度末の普通会計（普通会計決算統計値）地方債現在高は6,310,354千円で、人口一人当たり（平成23年3月末現在）581,332円で、前年同期より一人当たり12,748円増加している。

本町は長引く不景気で町税収入、財産収入等の自主財源に恵まれず、また、経常的経費が多くの部分を占めざるをえない現状にある。財政構造の健全性からも公債費比率は10%を超えないことが望ましいとされているが、22年度の公債費比率は9.5%で、前年度比2.0ポイントの減となっている。毎年、数値は減少していたが平成22年度は大幅な改善が見られた。今後も財政運営の健全性からして、特段の配慮と努力を望む。

平成22年度の町のとりくみ（主要施策成果）

1. 一般行政

- ◆姉妹町交流事業（2,116千円）
平成22年2月2日に姉妹町を締結した北海道南幌町との「児童交流学習」を実施した。多良木町の将来を担う10名の児童が訪問し、地理や文化について学習した。（南幌町児童も10名が来町）
- ◆予約制乗り合いタクシー運行事業（8,553千円）
住民福祉の向上を図るために、予約制の乗り合いタクシーを運行、多良木町タクシー組合に業務を委託した。延べ年間利用者数は8,345人が利用した。
- ◆出生祝い金交付事業（4,100千円）
少子化対策と育児環境の整備、保護者の経済的な負担の軽減を図るために出生祝い金を支給し出産を奨励、定住と人口増をめざした。平成22年度は71件の交付を行った。

2. 消防・防犯行政

- ◆消防・防災事業（64,194千円）
消防団員460名により町民の生命・財産を守るために各種防災・防火活動を行った。また、消防団拠点施設整備1箇所、小型動力ポンプ積載車の更新2台など、消防防災施設整備の充実を図った。
- ◆防犯（7,055千円）
安心して住める町を目指して行政区の自主防災防犯組織・地域安全パトロールを実施、区長との連携を図り防犯灯の新設・修理を実施した。

3. 産業・行政

農政事業においては平成22年度の農業粗生産額の上位品目としては、葉タバコ651百万円、米605百万円、生乳486百万円、肉用牛298百万円、メロン240百万円、きゅうり145百万円、いちご120百万円であった。また売れる米づくりを推進し、農業ビジョンの実現に向けた取り組みのため、営農座談会を開催した。今後、新規作物の試作及び野菜作物等の定着を目指し価格の安定化を図るべく努力する。

新たな担い手づくりとして国において制度化され平成19年度からスタートした品目横断的経営安定対策に対応するため、JA等関係機関と連携し、新たな担い手づくりに努めた。（認定農業者51件）

その他に、産業振興資金貸付事業（20,960千円）、中山間地域等直接支払い交付金事業（86,390千円）、優良和牛導入奨励事業（5,635千円）、町有林管理事業（99,637千円）、有害鳥獣駆除事業（6,664千円）、畑地帯総合整備事業（186,500千円）、経営体育成基盤整備事業（70,000千円）、商工観光事業（20,026千円）、観光事業（4,993千円）、企業誘致対策事業（261千円）などを実施した。

4. 土木行政

主な事業としては、道路整備事業（332,917千円）、住宅建設事業（59,080千円）、下水道整備事業（131,143千円）、下水道維持管理事業（86,679千円）、地籍調査事業（33,140千円）などの事業を行った。

5. 教育行政

主な事業として、各小学校施設耐震補強等設計委託料（22,785千円）、多良木小学校校舎改築工事（1,097,009千円）、多良木小学校体育館耐震補強及び照明改修工事（49,469千円）。

その他、総合型地域スポーツクラブ事業、青少年育成事業、生涯学習事業、婦人会青年団の育成、公民分館事業、文化財整備事業、埋蔵文化財発掘調査事業などを行った。

6. 衛生行政

主な事業として、健康教育・健康相談事業、検診事業、健康づくり推進事業、国民健康保険事業、介護保険事業などを行った。

7. 福祉行政

主な事業として、障害者福祉事業、老人福祉事業、児童福祉事業、ファミリーサポートセンター事業、病児病後児保育事業。

環境衛生事業（ごみ処理対策費他100,990千円）、うち塵芥収集事業16,000千円（1世帯当たりの経費4,128円）、リサイクル事業462トンに対する交付金5,275千円などを行った。

質問 昭和55年に多良木町史が発行され、すでに31年が経過し新しい資料も出ていると思



皆越秋廣議員

われる。後世に多良木町の歴史を残す資料として、町史は貴重なものと考えるが、町史編纂のプロジェクトチームを作る考え方はないか。

松本企画観光課長
多良木町史につきましては、昭和55年1月1日発行となっています。が、印刷発行までに約13年を要していまして、

質問 憲法25条「生存権及び国民生活の社会的進歩向上に努める義務」があると唱つてあります。そこで、無給水地区、下水道事業等

に対し住民に平等で均等性のある行政サービスの提供を行う必要があると思うが、どのように取り組まれるか伺います。



インフラ整備が望まれる地域

10人が町政を問う

～全ての質問事項～

1. 皆越秋廣 議員 (6ページ)

- ① 多良木町史について ② 雨水利用について
- ③ 太陽光発電について ④ 町の観光事業について

2. 中村正徳 議員 (7ページ)

- ① 地域間格差について
- ② 県土木ランク付け見直しについて
- ③ 林業振興策について ④ 行政改革について

3. 高橋裕子 議員 (8ページ)

- ① 官民一体の町づくりについて ② 職員の採用について
- ③ 町内各施設の管理運営と社会教育、観光等の窓口一本化について
- ④ バイオマス構想について ⑤ 教育の振興について
- ⑥ 福祉事業について

4. 山中馨 議員 (8ページ)

- ① 公立病院負担金についての条文について
- ② 火葬場について
- ③ 各種小型農林業用機械の免許取得について
- ④ 企業誘致と雇用について ⑤ 生ゴミ減量対策について

5. 福島典生 議員 (9ページ)

- ① 行政座談会の成果は ② 町づくりの政策について
- ③ 「歴史回廊たらぎ」事業の現状は
- ④ 秋の文化行事について ⑤ 職員の意識向上について

6. 吉瀬浩一郎 議員 (10ページ)

- ① 企業誘致について
- ② 地域ブランド化の推進について
- ③ 多良木町の観光事業について

7. 村山昇 議員 (11ページ)

- ① 農業の振興について ② 指定管理者制度について
- ③ 道路行政について ④ 行財政改革と職員について

8. 久保田悦子 議員 (11ページ)

- ① 水道料金の値下げについて
- ② 集落道や農道の整備について
- ③ 第5次多良木町総合開発計画の「地域力の向上」について
- ④ 福祉タクシーについて ⑤ 国営川辺川利水事業について

9. 瀬崎哲弘 議員 (12ページ)

- ① 地デジ移行後の本町での実情は
- ② 防災無線の活用と今後について
- ③ 住民懇談会を実施し、その成果は
- ④ ブルートレインの費用対効果と今後の運営について
- ⑤ 温泉センター施設管理保全対策について
- ⑥ 社会福祉協議会の運営について
- ⑦ 老人会加入年齢について

10. 魚住憲一 議員 (12ページ)

- ① 道路改良について ② 入札制度について
- ③ 町民座談会について

本府の一大事業であつたと伺います。将来的には、再編纂の必要があるかとは思いますが、現時点におきましては、まだ後年度での検討事項であると、担当課としては考えてています。町長 町史に書いてある

以降につきましては、合併周年とかいう形で発行していますし、そういう資料が総合計画、町の概要とかで残っていると、思いますので、第二巻の発行は50年経過ぐらいをめどにというふうに考えています。



多良木町史

の補助事業等もありますして、これらをあわせて助成を受けることも可能です。

A 県の補助を受け検討

Q 太陽光発電について

質問 溫室効果ガス削減の大きな期待がかかる太陽光発電システム

減の大きな期待がかかる太陽光発電システムに、町でも助成制度があるようだが、高価なためなかなか普及しないのが現状である。もういろいろな宣伝方法が必要と感じるが、具体策はあるのか。

久保環境整備課長

本町におきましての具體策といたしまして、

いわゆる住宅リフオーム事業の中に助成メニューを設けていまして、その中で助成制度を行つてているところです。対象となるメニューにつきましては、CO₂削減につながる工事として、対象工事の20%以内で20万円の上限をもとに調整を行つてい

りますか、今、再生可能エネルギーの関心が高まってきていると思

A 必要性等も考慮しながら

Q 光ケーブルの整備について

質問 光ケーブルの整備について

は、平成24年度で取り組みたいとの説明でしたが、この事業に※オフトーグ地

域情報機能を持たせた整備計画は出来ないか伺います。

田中総務課長

他町村においては、オフトーグ通信やケーブルテレビが併用できるようなIP端末機を導入されているところもあります。

中村正徳議員

在計画されているのが、インターネット専門の

※オフトーグ
電話回線を使った
放送機能

くことを検討中です。
町長 無給水地区については、地域の状況を把握し住民の方との協議を進めていきたいと思っています。合併処理浄化槽整備は、下水道事業が完了する予定27年度前後から、公平性を保ちながら整備していくことになります。

久保環境整備課長 下水道事業については、下水道の使用料と浄化槽の管理ではそんなに大きな差はないとは感じますが、当面は、浄化槽を含めた排水処理施設の整備促進に努めています。また、将来的に浄化槽関係の更新も出てくると思いますので、その必要が生じた場合には町で管理するような方向性も検討しているところです。

くことを検討中です。
町長 無給水地区については、地域の状況を把握し住民の方との協議を進めていきたいと考えています。また、将来下水道事業については、下水道の使用料と浄化槽の管理ではそんなに大きな差はないとは感じますが、当面は、浄化槽を含めた排水処理施設の整備促進に努めています。また、将来的に浄化槽関係の更新も出てくると思いますので、その必要が生じた場合には町で管理するような方向性も検討しているところです。



高橋裕子議員



Q 官民一体の町づくりについて

A 自治活動の推進と活性化への努力

質問 行政と住民を繋ぐ窓口は何処にあるか。まちづくりの原点は地域にありと、地域のコミュニケーションづくりに力を入れているのが今のあり方であると 思います。私も「自分が変わる、自分たちが 变える、自分たちの町」

その点に力を注ぐことを目的としています。その町民と行政を繋ぐ窓口はどこにあるとお考えか。

田中総務課長 各地域、行政区の運営、また生活基盤等に伴う意見・要望については、各区長さんに協力をお願いし、各行政区に配置さ

れている役場職員が、行政区の会議や活動に参加することで効果的に施策に繋げ、地域住民と町とが協働して自治活動の推進と活性化になるよう努力しています。

23年度より実施されることとなり、それに伴い多数の林業従事者の雇用が産まれることとになりますが、就業に必要なチエンソー、刈払機の資格を取得する必要があります。その資格取得のための受検手続きや、取得推進を町

A 講習会受講に向けた支援に

質問 今回、町有林の皆伐事業が計画され、

松崎農林課長 確かに現在、農林業関係従事者の高齢化ということ

で、非常に農作業中の事故が増えています。

その中でも、刈り払い機の事故あたりも大変多いようです。2ヶ月に1回講習会が開催されていて、農業関係については、春と秋の農

Q 町有林の皆伐事業について

繁期には農作業安全の回覧を回しています。今後の講習会等の案内も同時に回して、是非講習会を受講していただきたいと思います。

Q 町内施設の管理運営と社会教育、観光等の窓口一本化について

A 来年度より指定管理者制度導入を検討

Q 企業誘致活動・雇用対策は

松本企画観光課長 現在、緊急雇用創出基金事業並びにふるさと雇用再生特別基金事業で合計33名の方が雇用効果はとても高いものと思われますが、この補助事業は今年度(平成23年度)で終了しま

質問 町内各施設の指定管理者制度についてと、社会教育等の窓口一本化については、どういう方向を考えておられるか。

松本企画観光課長 四点ありますて、一、採算性も期待できる施

設及びそれに付随させ定管理者制度についてまちづくりの原点は地域にありと、地域のコミュニケーションづくりに力を入れているのが今のあり方であると 思います。私も「自分が変わる、自分たちが 变える、自分たちの町」

田中総務課長 各地域、行政区の運営、また生活基盤等に伴う意見・要望については、各区長さんに協力をお願いし、各行政区に配置さ



ブルートレイン



町有林 (楓木荒水谷)

質問 企業誘致と雇用対策について、企業誘致もなかなか進まない中、今行われている国の緊急雇用対策事業も23年度まで終わるようですが、どう考えておられるのか。

松本企画観光課長 今現在の企業誘致活動はどのようになされているのか、また今後の雇用対策はどうされるのか、雇用状況の見通しについてどう考えておられるのか。

松本企画観光課長 現在、緊急雇用創出基金事業並びにふるさと雇用再生特別基金事業で合計33名の方が雇用効果はとても高いものと思われますが、この補助事業は今年度(平成23年度)で終了しま

福島典生議員



**Q 行政座談会について
A 今後、参加をしていただくような形で**

町長 住民の方に町の考え方、私の考え方を知させていくというのは重要だと思っていました。広報また防災無線等でふれているわけですが、先程言われたように、膝詰めでやる



町政座談会

た方がいい施設、二、採算性は見込めない体育施設等、三、清掃及び除草と消耗品の管理が主な施設。四、堆肥センター、この四つに分類をしまして、来年度からの指定管理者制

度導入の方向で検討をしています。施設の管理運営等をあわせて、総合的に一括管理を引き受けてもらえる外部団体が存在すれば一番理想的ですが、今から立ち上げて育成するに

は、長い時間がかかるものと思っています。徐々に拡大していく方向が実現性が高く、引き受けの当初の負担も軽くなるものと思っています。

山中 警議員



**Q 採用条件にすることは難しい
A**

質問 職員採用についての考え方と、多良木町以外から通勤している職員が11名いるということだが、職員に採用されたら最低限多良木に住んでもらいたい。住まいは多良木町に置くことを採用条件にすることは出来ないのか。

町長 職員採用については、統一の一次試験

を受けさせていただいて合

格ラインを決め、県の指導に沿って行っています。面接においては、

多良木町を活性化していく情熱とか、意欲とか、考え方を持った人を基準にして採用していく

評価をトータルで決めています。

致については、第1次産業を活かした農産物を扱う食品関連の企業が最も有望ではないかという方向性で、人吉球磨企業誘致連絡協議会においても、誘致活動を展開しているところです。

いと存じます。

ういう機会があることを強く要望していきましたし、今後もそういう機会があることを強く要望していきます。

町長

中山間地直接支払い制度と同様に、上京の折には県選出国会議員に継続をお願いしています。



質問 稼げる農業を実現するためには、単価アップとコスト削減に

より農家の手取りりを増やし農業所得の増大が何よりも重要であり、ブ

ランド化し高品質の安定生産をするために、多良木町和牛貸付事業

質問 乗り合いタクシーを利用できない高

齢者や障がいの方から、回数券で使える福祉タクシーを望む声が

ある。昨年12月議会で同じ問題を質問した際、課長は「進める方向で」、

A 農業の振興について

Q 農業の振興について

吉瀬浩一郎議員



Q 企業誘致について

A 早急に対応したい

質問 企業誘致は他町村とのしのぎ合いです。

り困り果てているそ

していないわけですが、ただこれには考えがあ

は考えていかなければならぬと思います。

ならないと思

うにされないと誘致は難しい。従つて働く場所を提供することもでききない。当然若い人の人口も減少します。郡市

の自治体中光回線設備がないのは本町のみです。ある会社は光回線が無いため岡原中学校に工場を移したいと

言われ、別の会社では光回線がないため本社から大量に送られるデータの処理が遅くな

言われ、別に会社では明かに政策的な失敗で導入しなかった事実は

でどうか。光回線を導入しなかった事実は明かに政策的な失敗で導入しなかった事実は

ます。重大な政治的局面上において的確になされべき政治判断を誤つてしまわれたのではな

いでしょうか。町長 光ファイバーの件ですけれども、これは確かに10市町村のうち本町だけが光を導入

ます。重大な政治的局面上において的確になされべき政治判断を誤つてしまわれたのではな

いでしょうか。町長 光ファイバーの件ですけれども、これは確かに10市町村のうち本町だけが光を導入

うなことになつたとい

うことです。光ファイバーが来ていないと

うことは、企業誘致の問題に関しましてはマイナスと言いますがデメリットの部分があるので、そういうところ

は導入を考えています。困つておられる会社の方には早速行って説明したい。



誘地企業団地遠景



久保田悦子議員

A 農産農家の意向調査

Q 農業の振興について

質問 乗り合いタクシーを利用できない高

齢者や障がいの方から、回数券で使える福祉タクシーを望む声が

村山 昇議員



町長 人事異動につきましては、いちばん頭

質問 行財政改革の一環として、新規職員の採用数の削減凍結により、世代構成が偏り知識の継承が上手くいく

A 適材適所に配置 Q 行財政改革と職員について

の実施により、畜産の振興と稼げる農業を実現する考えはないか。

松崎農林課長 前回事業を実施した成果が表れてきているので、畜産農家全体を通して一応調査し、是非この多良木町和牛貸付事業を

取り組みたいという意向が多いようであれば考えていいたい。

町長 畜産農家の方々の意見を聞きながら農業振興に力を入れていきたいと思います。



郡畜産共進会

か心配、後輩が出来ないことで不安、一度に何人も減った部門では職務分担が過重になり、職員のストレスが増大するのではないかと思うが、適材適所の人事管理がなされているのか。

町長 人事異動につきましては、いちばん頭

を使い悩むところです。やはり職場に新風を吹き込む活性化が大事なことですので、本人の希望と上司の評価を十分尊重し、適材適所に配置し住民サービスに努めてまいります。

会で町長は「2年後に水道料金の値下げを検討する」と言われました。22年度の水道事業の決算では、2560万円の利益があり、現金は1億8千8百万円あります。今後の施設整備を見込んでも値下げする財源は十分あります。先延ばしせず、24年度当初より値下げすべき

と思いますが考えは。

A 時期については慎重に検討 Q 水道料金の値下げの時期は

また町長は「交通体系の見直しの中で考えたこと」と答弁されました

松本企画観光課長 国道は産交バスが運行されています。公的な事業は基本的に民間との競合ができません。

が、結論は。

まちの公共交通体系の見直しの中でも、主に国道筋の高齢者の方々です。この地区の70歳以上が894名、80歳以上が399名(施



整備される中央制御室

し一方で町内には無給水地区も多数存在しますし、今後とも町内全

域のバランスを考慮しながら、その時期については24年度もしくは25年度の当初からという方向で、慎重に検討しながらやっていきた

いと思っています。

町長 本町では高齢者の免許証の返納など利用されていない地区が、多良木の3区の

瀬崎哲弘議員



Q 老人会加入年齢について

A 老人会等組織の中での検討

前田健康保険課長

実問題と認識している。

質問 老人会の加入制度や今後の在り方について、現況（加入状況等）、また加入年齢や名称の変更、助成制度について再考はできな

前田健康保険課長
現在60歳以上4561名で、加入者は1528名、加入率33.5%、47行政区の内16行政区が結成されています。

老人会組織の中で一度話を投げかけ検討してみる。

町長 今の時代、60歳では抵抗があるのも事

Q 防災無線の活用と今後について

A 当分の間は新型戸別機で対応

質問 戸別受信機の提供をしてあるが、現況の問題はスイッチを切っている家庭や施設入居の独居家庭も多いと聞くが、町の認識は。また光通信の導入が他町村に比べて遅れてい

る。今後町民へのきめ細やかな情報や伝達についての考えは。

田中総務課長 中継所のトラブルがありましたが、修理は完了しました。スイッチを切っている家庭も多いが、

質問 座談会で火葬場の説明がありました。1900台の入れ替えは出来ているが、施設の本体

は多良木町への要望が多いようで

す。金銭面的なことがアンケート及び説明会の考え方。

アンケート及び説明会

Q 道路改良について

A 8月より、用地取得の交渉に

質問 県道人吉水上線、

工区の方から用地取得と考えています。

改修工事については、改良の話が出てから20数年経ちます。また12月、1月に説明会がありました。その後半年以上経ちましたが何も説明がありません。

現在の状況と、今後の町の考え方。

久保環境整備課長

8月より、大園下の3

事、また施設等に長期入所の家庭については、

一緒になって全力で交渉の手伝いができるか

Q 火葬場について

A アンケートは今のところ考えはない

質問 座談会で火葬場の説明がありました。1900台の入れ替えは出来ているが、施設の本体

は多良木町への要望が多いようで

す。金銭面的なことがアンケート及び説明会の考え方。

アンケート及び説明会



県道梶屋多良木線（黒肥地）

区長自治会・町執行部・ 町議会との懇談会

去る8月30日(火)、17時より区長自治会(44名)、町執行部(16名)、町議会(14名)との懇談会が開催されました。

懇談会の座長を三宅区長自治会会长と定め、議題としてあげられた協議事項は、あらかじめ区長自治会より用意された質問事項について執行部が回答し、必要な部分については議会の意見が求められるという形式で会が進められました。

質問事項の主なものは、

- 道路に関する件が8件
- 排水路の三方コンクリート
- 旧里の城吊り橋の橋台の復元
- 南幌町と交流している黒肥地1区との連絡を密に
- 不耕作地の活性化
- 川底の整備
- 火葬場の件
- 健康応援隊の今後の進め方

など、それぞれの区長より地元からの質問がありました。

これに対して執行部から「質問の総てを実現することは難しいが、必要なことについては議会と協議のうえ出来るだけ対応したい」との回答があり、今後検討されることになりました。

(魚住)

自体の老朽化もしている。しかし当分の間は新型戸別機で対応、光通信の導入は実施計画で24年から25年にかけて実施するよう取り組みます。



新型戸別機



魚住憲一議員

町長
免田葬斎場(天翔苑)の方に加入をしました。

葉たばこ通常期買入始まる

10月6日(木)、九州リーフセンター「日本たばこ産業(株)西日本原料本部(合志市)」で、多良木町管内の生産農家の通常期買入が、葉たばこ生産農家の熱い期待の中開始されました。

例年多良木町議会では九州リーフセンターへ赴き、多良木町の買入初日に町内の葉たばこ生産農家の激励を行っており、この日は町内5戸の葉たばこ生産農家の買入が行われました。

(魚住)



たいと思っています。
ただこれにはあざぎり
町、錦町、本町の議会
の同意もいることです。
アンケートとしては今
のところ考えはあります
せん。説明会は、議会
を通したり、また地域
座談会でも説明をして

きました。ただあの時
点では明確な詳しい数
字が出ていなかつたの
で、今後は担当者会議
等を通して、いつた数字を出させて
いきたいと思つていま
す。

町の考え方に対して（全員協議会報告）

6月議会終了後、6月17日・6月28日・8月26日・9月13日の4回にわたり全員協議会が開催され、本町を取り巻く諸問題について協議しましたので主な協議について報告致します。

1) 消防の広域化

熊本県消防広域化推進計画に基づき城南ブロックの消防広域化の基本的事項について協議するため、平成21年5月7日に城南ブロック消防広域化協議会が設立されましたが、今回この協議会の経緯について広域化推進事務局から説明を受けました。上球磨消防組合消防本部を含む城南ブロックの場合、現在15の市町村と4ヶ所の消防本部で構成されています。計画の内容は県内を、城北・中央・天草・城南の4つのブロックに統合し消防の広域化を図るというものです。今後時間をかけて協議会で検討されることになります。

2) 相良頼景公入国八百年記念碑移設設計画

黒肥地地区の青蓮寺に設置されている記念碑を、青蓮寺駐車場拡張のため現在地から移設する案が計画されています。移設予定の場所は黒肥地地区の旧農協精米所跡地石倉に仮置きとなります。

3) チップ・ボイラー施設視察

町では、えびす温泉センターの熱源変更(現在は電気で沸かしています)を検討していますが、議会では宮崎県日向市耳川木材加工団地にある木チップを使ったボイラー設備の視察・研修を行いました。

4) 人吉球磨地域公共交通関係補助金

くまがわ鉄道株式会社経営安定化補助金の市町村負担金の支出に関する事項、及び、人吉市の高速バス待合所が狭く不便なため、これを全面改修整備するための市町村負担金について協議しました。

5) 光ブロードバンド施設整備

人吉・球磨10市町村のうち光ファイバ回線が設備されていない自治体は多良木町のみです。設置を急がなければなりませんが、町では光ブロードバンド回線の設備を平成24年度から民設・民営で行う計画を進めています。実際に光回線が利用できるのは平成25年4月以降の予定です。

6) 新産住宅への土地貸付

多良木町の誘致企業、新産住宅(本社熊本市)より依頼(材木の乾燥に使用するため)があり、大字多良木字松尾の町有財産3,302・85平方メートル(整地は会社が行う)を貸し付けるというものです。

7) 農林商工業後継者奨励金制度について

農林商工業以外の職種から、また、他町村で農林商工業に従事していた方々が本町で農林商工業の主たる事業者となった場合に補助金を交付してはどうかという案が話し合わされました。

8) 久米財産区管理会条例について

現在の財産区管理委員7名(任期4年)の選挙制度を今後は地区推薦の委任制度に変えていくことはできないかという検討事項についての協議がなされました。

(吉瀬)

〈追悼〉謹んで十月二日にご逝去されました
味岡茂元議長のご冥福をお祈りいたします



木チップボイラー施設視察研修

期日：平成23年9月7日(水)

研修先：木チップボイラー 「有限会社サンケイ」 宮崎県日向市耳川木材加工団地

『木チップボイラー』

耳川木材加工団地、平成22年度補助事業により設置された木質バイオマスボイラーの施設を研修しました。

当設備は、かなり大きな物でしたが、ボイラーが小さくなても他の設備には大きな差はなく、かなりの用地を必要とすること、また燃料とする木材についても引き続き調査研究が必要だと思われます。

(高橋)



町村議会広報研修会に参加

第74回全国町村議長会主催による町村議会広報研修会が、平成23年7月28日～29日(2日間)、東京・シェーンバッハ・サボー会館にて開催され、広報委員3名が参加しました。

町民の皆様方に読んでいただく“議会だより”を編集作成するための、わかりやすい文章表現・表記についてや、広報活動での著作権・肖像権の事例・応用編、また住民の知る権利・議会の知らせる義務、ありのままの「議事公開」等、住民と共に歩む広報づくりのため、分かりやすい記事と見出で、読みやすい紙面づくりの技術について研修を受けて参りました。広報委員一同この研修内容を基本に努力して参ります。

いつまでも“議会だより”をご愛読くださるようお願いいたします。

(村山)





たらぎ赤い糸プロジェクト委員会による妙見野自然の森展望公園周辺に
自生するウワミズサクラをモチーフとした「愛の鐘」(仮称)

人吉球磨広域行政組合って何？(一部事務組合シリーズ①)

- (1) 広域にわたる総合的な計画の策定並びに広域行政事務の実務及び連絡調整に関する事務
- (2) 前号の計画のうち、ふるさと市町村圏計画で定める広域活動計画に基づき行う地域活性化、高度情報化及び知的活動環境の向上事業に関する事務
- (3) 特別養護老人ホームの設置、管理及び経営に関する事務 「福寿荘」
- (4) 介護老人福祉事業及び短期入所生活介護事務に関する事務 「福寿荘」
- (5) 検診車の設置、管理及び経営に関する事務 総合検診センター 「コスモ」
- (6) し尿処理施設の設置、管理及び経営に関する事務並びにその他し尿の収集・運搬及び処分に関する一切の事務（人吉市、相良村、五木村、山江村及び球磨村については、し尿処理施設の設置、管理及び経営に関する事務に限る） 「汚泥再生処理センター」「免田し尿処理場」
- (7) ごみ処理施設の設置、管理及び経営に関する事務 「人吉・球磨クリーンプラザ」「免田リサイクルセンター」「深田最終処分場」「相良最終処分場」「梢山最終処分場」
- (8) 火葬場の設置、管理及び経営に関する事務
「人吉葬斎場」「免田葬斎場(天翔苑)」「多良木火葬場(靈雲園)」「水上葬斎場(菩提苑)」



（ひとよしくま広域行政要覧抜粋）

第8条 組合の議決すべき事件のうち、構成市町村の一部に係るもの議決については当該関係市町村から選出されている議員のそれぞれの出席議員の過半数の賛成を含む出席議員の過半数でこれを決する。

第9条 組合に理事会を置く。

2 理事は、構成市町村の長をもって充てる。

（人吉球磨広域行政組合規約抜粋）

【多良木町選出議員：瀬崎哲弘、福島典生、高橋裕子】

（高橋）

○○
◎坂瀬崎
吉瀬浩一
幸哲郎
法弘

高村魚橋
山住裕子
憲昇一

（坂口）
合掌

広報特別委員会構成

秋といえば「食欲の秋」と言います
が、今年も美味しい新米を食べる季節
になりました。いろいろ各地のお米を
食してきましたが、やっぱり地元産のお米
が一番美味しいと思うのは私だけ
でしょうか。ちなみに先日楓木地区
の体育祭で食した楓木米のおにぎり
は最高に美味しかったです。皆様も一
度ご賞味してみては？
▼これから訪れる冬の寒さに負けない
よう、熱い議会活動をより分かりやすく
お伝えできるように、広報全委員張
り切っています。今後も、町民の皆様
との架け橋の一助となれば幸いです。
よろしくお伝えください。
■去る十月に我々議員の大先輩である、
元多良木町議会議員・味岡茂氏がお亡
くなりになりました。昭和58年に初當
選されて以来、連續7期28年の長きにご
貢献され、平成15年には議会議長にも
就任されました。また、熊本県軟式
野球連盟会長として、青少年健全育成
の為にもご尽力いたいたことは、関
係者は勿論、町民の皆さんもよく知る
ところでしょう。また持ち前のバイタリ
ティー溢れる行動力は、議員一同の信望を一
身に集めておられました。郷土愛を基
本とした確固たる信念と、暖かい包容
力のある大きなお人柄で、町のために
一生懸命にご尽力いたいたその御功
績の数々を偲びつづけています。心から
尊敬の念と感謝の意を捧げ申します。
心からご冥福をお祈り申し訳ござ
ります。

編集後記